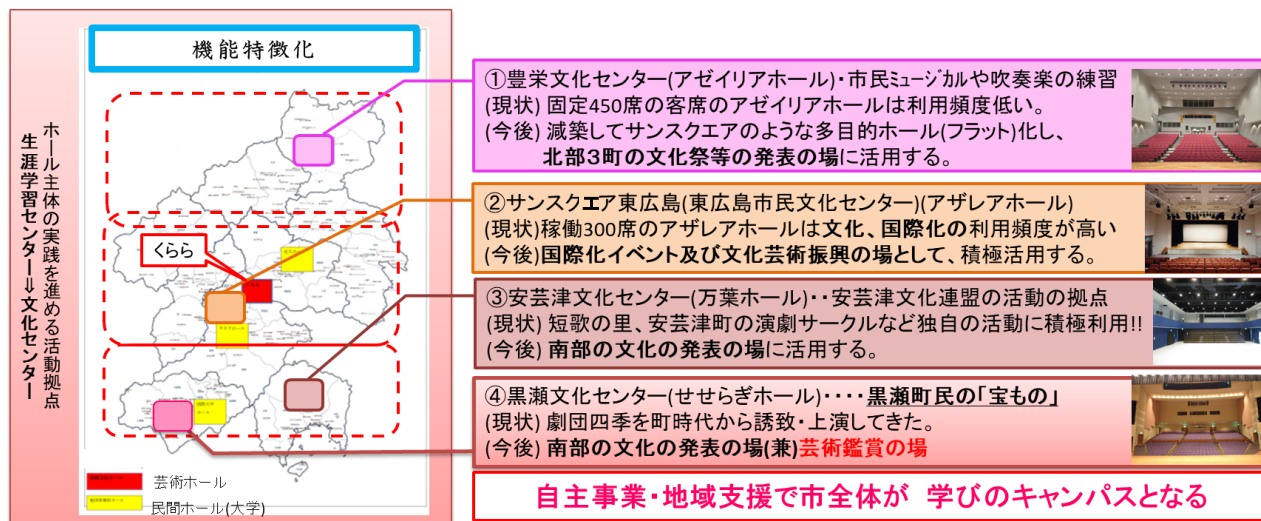




文化芸術活動コンシェルジュ業務について

◆コンセプト(ぶれない軸)

東広島市内で行われる文化芸術活動の活性化を図ることを目的とし、市民の「学び」が「実践」に繋がる好循環を生み出せるよう、核となる市内5生涯学習施設（黒瀬生涯学習センター、安芸津生涯学習センター、豊栄生涯学習センター、市民文化センター、中央生涯学習センター）を中心に各生涯学習施設等を有機的に結び付け、「市全体を学びのキャンパス」にすることを目標とする。



◆事業名

文化芸術活動コンシェルジュ業務

◆実施主体

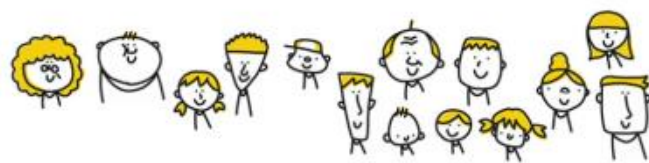
東広島教育文化振興事業団

◆事業期間

令和4年7月1日～令和5年3月31日

◆実施場所

東広島芸術文化ホール「くらら」



◆事業の6W1H

●Why (なぜやるのかというバックボーン)

東広島市内では数多くの生涯学習活動が盛んに行われているが、その活動一つ一つにそれぞれ課題がある。例えば、「現在利用している稽古場より、もっと自分たちの活動に合ったところはないか。」「〇〇な活動を始めてみたいがどうしたらよいか」「イベントを開いてみたいが、広報はどうしたらいいのか、舞台運営はどうしたらいいのか」…

活動場所や利用料金、集客方法から教室などの立ち上げ方、様々ある悩みを拾い上げ、それ実現可能な物へとコーディネートしていく。

文化芸術活動で困った時に頼れるワンストップサービスのような存在 (社会的意義)

●What (何をやるのか)

- ・芸術文化ホールくららの相談カウンター設置
- ・市内各施設への取材 (実際に活動している人たちの様子の観察や聴き取りから、課題の発掘とそれに対する提言を行う。)
- ・ホームページを作成し、市内の生涯学習活動やイベントの広報を行うほか、普段の活動での困りごと等の解決事例等をコーナー化する。
- ・ホームページでも相談業務を行う

●How to (どんなノウハウを使う?)

- ・市内の文化芸術活動の情報が一手に集まる教育文化振興事業団の情報量
- ・市内のイベントに精通し、効果的な広報の打ち方も知っているコンシェルジュの育成
- ・本業務内容に特化した初めての人材育成



●Who (誰がやる?)

・コンシェルジュ (事業団任用)

↓ 協力関係!

- ・市内の活動を良く知るスペシャリスト (生涯学習推進員、スポーツ推進員)
- ・「学び」に関わる市各部署
- ・芸術文化ホールくらら
- ・民間団体、施設、個人



●Where,Whom (ターゲットは?)

- 1 市内各地で活躍する文化芸術活動に関わる退職後の方々。
- 2 市内4大学や高校で活躍する学生、生徒
- 3 仕事以外にも活動を行う壮年世代
- 4 自分の活動をもっといろんな人を知ってもらいたい、集客したい、教室を広げたい講師やアーティスト

●When (どのようなタイミングで?)

- ・定期的な相談カウンターの設置
- ・専門的な講師によるセミナー
- ・市内各地で人が集まる時期 (市内生涯学習センターや地域センターでの催し等)
- ・HPは常設